

第2 公営企業の業務の状況

1 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成22年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、合計1億5,073万7,585キロワットアワーの電力を供給しました。また、既設発電所の改良工事等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

区分 月別	供給電力量 (A) kwh	目標電力量 (B) kwh	比率 (A)/(B)×100 %	料金収入(税込) (定額・従量併用制) 円
前期計	281,019,603	232,967,000	120.6	1,576,167,006
10月	28,746,579	31,425,000	91.5	240,067,466
11月	26,670,471	23,645,000	112.8	237,387,269
12月	33,419,190	24,139,000	138.4	245,998,028
1月	16,540,345	21,266,000	77.8	224,427,907
2月	18,136,914	22,867,000	79.3	226,392,816
3月	27,224,086	31,415,000	86.7	201,419,866
後期計	150,737,585	154,757,000	97.4	1,375,693,352
合計	431,757,188	387,724,000	111.4	2,951,860,358

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書
(平成22.年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：円)

1	営業収益	2,895,501,635	
2	営業費用	<u>2,229,318,526</u>	
	営業利益		666,183,109
3	営業外収益	56,231,329	
4	営業外費用	<u>441,641,908</u>	<u>△ 385,410,579</u>
	経常利益		280,772,530
5	特別利益	28,934,964	
	特別損失	<u>270,212</u>	<u>28,664,752</u>
	当年度純利益		309,437,282
	前年度繰越利益剰余金		0
	当年度未処分利益剰余金		<u><u>309,437,282</u></u>

貸 借 対 照 表
(平成23年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固定資産	23,900,490,156	
2	流動資産	<u>4,395,052,345</u>	
	資産合計		<u><u>28,295,542,501</u></u>
		負 債 の 部	
3	固定負債	754,864,989	
4	流動負債	<u>163,096,365</u>	
	負債合計		917,961,354
		資 本 の 部	
5	資本金	21,613,615,074	
6	剰余金	<u>5,763,966,073</u>	
	資本合計		<u><u>27,377,581,147</u></u>
	負債資本合計		<u><u>28,295,542,501</u></u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成23年3月31日現在）

（単位：円）

ア 資 産	28,295,542,501
イ 企 業 債	8,930,451,738
ウ 一 時 借 入 金	0

(4) 平成23年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億8,772万4千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計30億4,361万7千円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計30億659万5千円を計上しました。

(イ) 建設関係

電力の安定供給を図るため、既設発電所の改良を計画的に実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

（収益的収入及び支出）

収 入

（単位：千円）

第1款 電気事業収益	3,043,617
第1項 営業収益	3,042,165
第2項 営業外収益	1,452

支 出

第1款 電気事業費用	3,006,595
第1項 営業費用	2,545,143
第2項 営業外費用	461,452

（資本的収入及び支出）

収 入

（単位：千円）

第1款 資本的収入	4,550
第1項 工事受託金	4,550

支 出

第1款 資本的支出	1,610,412
第1項 建設改良費	513,915
第2項 受託工事費	4,533
第3項 企業債償還金	1,091,964

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により収入の増加を図り、安定した経営に努めます。

2 長野県水道事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成22年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市1町の給水区域に、930万6,350立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

区分 月別	給 水 戸 数	有 収 水 量	水 道 料 金 (税 込)
前 期 計	戸 —	m ³ 9,496,002	円 1,700,125,270
10 月	71,692	1,711,716	305,764,119
11 月	71,566	1,475,454	265,604,976
12 月	71,413	1,586,831	285,943,994
1 月	71,316	1,470,706	264,872,864
2 月	71,326	1,637,205	293,772,216
3 月	71,525	1,424,438	257,717,653
後 期 計	—	9,306,350	1,673,675,822
合 計	—	18,802,352	3,373,801,092

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市、塩尻市及び山形村に1,474万182立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため、送水施設の改良工事等を実施しました。

区分 月別	供給量	用水料金
前期計	14,814,517 m ³	730,771,184 円
10 月	2,510,655	123,842,520
11 月	2,429,682	119,847,600
12 月	2,510,692	123,842,520
1 月	2,510,785	123,842,520
2 月	2,267,742	111,857,760
3 月	2,510,626	123,842,520
後期計	14,740,182	727,075,440
合計	29,554,699	1,457,846,624

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益	4,695,460,021	
2 営業費用	<u>3,378,580,948</u>	
営業利益		1,316,879,073
3 営業外収益	132,096,873	
4 営業外費用	<u>671,309,732</u>	<u>△ 539,212,859</u>
経常利益		<u>777,666,214</u>
当年度純利益		<u>777,666,214</u>
当年度未処分利益剰余金		<u><u>777,666,214</u></u>

貸借対照表

(平成23年3月31日)

(単位：円)

	資 産 の 部	
1 固定資産	60,313,845,892	
2 流動資産	3,846,964,094	
3 繰延勘定	<u>22,350,000</u>	
資産合計		<u>64,183,159,986</u>
	負 債 の 部	
4 固定負債	1,000,591,184	
5 流動負債	<u>422,554,054</u>	
負債合計		1,423,145,238
	資 本 の 部	
6 資本金	38,976,260,156	
7 剰余金	<u>23,783,754,592</u>	
資本合計		<u>62,760,014,748</u>
負債資本合計		<u>64,183,159,986</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成23年3月31日現在）

(単位：円)

ア 資 産	64,183,159,986
イ 企 業 債	25,753,077,798
ウ 一 時 借 入 金	0

(4) 平成23年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市1町の7万1,866戸に年間給水量1,866万4千立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市及び山形村に年間供給量2,964万6千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計49億2,420万3千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計43億5,822万2千円を計上しました。

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、送・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

(単位：千円)

第1款 水道事業収益	4,924,203
第1項 営業収益	4,916,647
第2項 営業外収益	7,556
支 出	
第1款 水道事業費用	4,358,222
第1項 営業費用	3,621,958
第2項 営業外費用	736,264

(資本的収入及び支出)

収 入

(単位：千円)

第1款 資本的収入	1,932,295
第1項 企業債	1,158,000
第2項 補助金	75,000
第3項 負担金	699,295
支 出	
第1款 資本的支出	4,278,949
第1項 建設改良費	2,758,674
第2項 企業債償還金	1,520,275

イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため、効率的な管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため、効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに危機管理体制の強化に努めます。